

平成21年9月4日

各 位

会 社 名	株式会社ソディックプラスチック
代 表 者 名	代表取締役社長 鈴木正昭 (JASDAQ・コード6401)
問 合 せ 先	
役 職 ・ 氏 名	常務取締役 河本朋英
電 話	045-478-1880

### 第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

平成21年9月4日開催の当社取締役会において、第三者割当による新株式発行を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、同取締役会に取締役である古川利彦は欠席いたしております。また、同取締役会において募集株式の割当先の採決にあたっては割当先ごとに順次採決を行い、割当を受ける取締役5名中4名（鈴木正昭、佐野定男、市川剛志、河本朋英）は、特別の利害関係を有するため、自己の割当決議については参加いたしておりません。加えて、鈴木正昭は、株式会社ソディックの取締役副会長であり特別の利害関係を有する関係に準ずる関係を有するため、株式会社ソディックの割当決議については参加いたしておりません。

#### 1. 発行要領

(1) 発行新株式数	普通株式 14,750株
(2) 発行価額	1株につき 金 86,800円
(3) 発行価額の総額	1,280,300,000円
(4) 資本組入額	1株につき 金 43,400円
(5) 資本組入額の総額	640,150,000円
(6) 募集又は割当方法	第三者割当による
(7) 申込期日	平成21年9月24日(木)
(8) 払込期日	平成21年9月24日(木)
(9) 割当先及び割当株式数	株式会社ソディック 11,250株 古川 利彦 1,000株 鈴木 正昭 1,000株 大迫 健一 500株 藤巻 繁 300株 佐野 定男 200株

市川 剛志	200 株
河本 朋英	100 株
牧崎 利郎	100 株
吉田 伸一	100 株

(10) 前記各号については金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

## 2. 第三者割当の方法による新株式発行の目的及び理由

当社は、設立当初から精密射出成形機関連事業に焦点を当て、特にコネクタ、液晶、携帯電話等に用いられるプラスチック樹脂製品の製造に必要な精密射出成形機を国内外の電機、電子部品メーカーに対して着実に販売してまいりました。

その結果、特に 200 t 以下の小型精密射出成形機マーケットでは、国内メーカーにおいてシェアは 10% 程度を占め、業界内でも確固たる地位を築くまでになりました。

加えて、特機（検査装置向けの精密ステージ等）関連事業でも実績を積み重ね、現在は射出成形機関連事業と特機関連事業とが当社の事業の二本柱となっております。

しかしながら、これらの二事業の業績は、いずれも景気、特に自動車業界や電機業界の設備投資動向に大きく左右される状況にあり、2001 年度は I T 不況の直撃を受け、また 2008 年度はサブプライムローンに端を発する世界的な経済不況下において設備投資需要の減退から大きく受注、売上が減少し、損益においても大幅な赤字を計上いたしました。

こうした現状を踏まえ、当社といたしましては、今後も企業価値を高め、株主の皆様ごの期待にこたえていくためには、現在の二事業に加えて安定的成長が見込まれる第三の事業を構築することが急務であるとの結論に達し、平成 21 年 9 月 4 日の取締役会にて、株式会社ソディック新横から同社が営む食品機械関連事業を、同日に譲渡契約を結び譲受けることといたしました。

株式会社ソディック新横は当社と同じく株式会社ソディックを中核とする企業集団に属する会社で、株式会社ソディックの完全子会社であります。

食品機械関連事業は、過去 10 年間、市場規模（国内メーカー販売高）が概ね 4,500 億円前後で推移する等、比較的景気変動の影響を受けにくい産業であります。

その中であって当社が取扱うのは、製麺機の開発、製造及び販売事業であります。製麺機とは、うどん、そば、ラーメン、パスタ等の麺類の製造機械です。

麺類は日本国内では食生活の一部として根付いており、堅調な需要がある一方、今後、個人消費の拡大が見込まれるアジア、特に中国市場においてはその潜在的な成長性は極めて高いと予測されております。

例えば、即席麺の需要は、日本国内では年間ほぼ 50 億食で推移する一方、中国では 2002 年の 230 億食から 2008 年には 450 億食に伸びています。加えて、近年、食の安全性が強く求められるようになり、旧来の小型、人手に頼った製麺技術ではなく、衛生面が確保された近代的装置を備えた大型のプラント型製麺機が国内外においても、今後の主流になっていくことが予想されます。現在、株式会社ソディック新横が製造する製麺機は、既にそうした機能を兼ね備えており、大手製麺企業や全国展開するファミリーレストランの食材製造部門へ販売しております。

しかしながら、ユーザーからは、より一層の高品質化、高生産性が求められており、現在の株式会社ソディック新横における生産設備だけでは、そうしたユーザーからの要請にこたえていくには限界がある状況にあります。

一方、当社の生産設備には未だ余力があり、また当社の有する精密機械製造技術（原材料の自動加工調整、製品の均質性確保、トレーサビリティの具備等）を応用すれば、より付加価値の高

い製品・サービスの提供が可能となること等から、株式会社ソディック新横から当該事業を譲受け、当社にて取り組んでいくことといたしました。

この食品機械関連事業の譲受価額は約 18 億円であり、その資金調達の方法としては第三者割当による増資と、外部からの借入金によって賄う予定であります。

当社の今年度の売上高の予想は約 66 億円であり、有利子負債は約 43 億円(平成 21 年 6 月末)であります。現状の財務内容からすると新規事業に大きな投資をするには、間接金融だけの資金調達ではなく、増資による資金調達を合わせて行うことが、安定的な経営に寄与し、企業価値の向上につながると判断いたしました。

また、増資の形態としては、公募、第三者割当の双方を検討いたしました。当社にとって今回の食品機械関連事業の譲受けは必要不可欠であること及び当該事業の譲受けに必要な資金が約 12 億 3 千万円にのぼり、当社の現在の株式時価総額が約 15 億円であるのに比して多額であることから、公募で対応するのは困難であると考え、より迅速で確実な第三者割当が適切であり、それが当社の企業価値の向上をもたらす少数株主の利益に還元されるものであると判断いたしました。

食品機械関連事業の譲渡人である株式会社ソディック新横は、株式会社ソディックの完全子会社であり、同時に株式会社ソディックは、当社の議決権の過半数を有する親会社であります。

今回の食品機械関連事業の譲渡・譲受けは株式会社ソディックを中核とする企業集団間の事業再編とも言えます。

従いまして、今回の第三者割当増資及び食品機械関連事業の譲受けにつきましては、当社の親会社であり、かつ企業集団の中核企業でもある株式会社ソディックから積極的な支援を頂くことが、他の株主及び投資家の皆様のご理解を得るうえで必要不可欠であると考え、割当先として選定いたしました。

加えて、今後の当社の業績向上に対する意欲や株主重視の経営意識を高めるという意味においても、当社取締役および平成 21 年 9 月 25 日に開催される当社臨時株主総会において選任される予定である者を割当先とすることが企業価値向上につながると判断いたしました。

なお、古川利彦、鈴木正昭、佐野定男、市川剛志、河本朋英は、当社の現在の取締役であります。

また、大迫健一、藤巻繁、牧崎利郎、吉田伸一は、食品機械関連事業の推進に必要な業務上の知識、経験を有していることから、平成 21 年 9 月 25 日に開催される当社臨時株主総会において、当社取締役に選任される予定であります。

以上のように、今回の第三者割当増資による新株式発行及び調達する資金による食品機械関連事業の譲受けは、当社の経営・財務の安定及び業績発展に大きく寄与するものであり、既存株主の皆様にも十分な利益をもたらすことができるものであると判断いたしております。

### 3. 調達する資金の額及び使途

#### (1) 調達する資金の額

①調達する資金の額	1,280,300,000 円
②発行諸費用(概算額)	
アドバイザーフィー及び弁護士費用等その他諸費用	50,000,000 円
③調達する資金の手取額(差引概算額)	1,230,300,000 円

#### (2) 調達する資金の具体的な使途

今回の第三者割当増資により調達する資金の使途につきましては、その全額を株式会社ソデ

ック新横から譲受ける食品機械関連事業の譲受代金に充当する予定であります。

具体的には製麺機製造等に関わる棚卸資産等の流動資産約 10 億円、機械装置等の有形固定資産約 4 億円、営業権等の無形固定資産約 8 億円の資産合計約 22 億円から負債総額約 4 億円を差引いた約 18 億円の譲受価額のうち、固定資産部分の約 12 億円の取得に充当いたします。譲受価額から今回の第三者割当増資により調達する資金を差引いた残額につきましては、外部からの借入金によって賄う予定であります。

なお、調達する資金は支出するまでの期間、銀行預金にて管理する予定であります。

(3) 調達する資金の支出予定時期

平成 21 年 10 月末を予定しています。

(4) 調達する資金使途の合理性に関する考え方

「2. 第三者割当の方法による新株式発行の目的及び理由」で述べましたように、当社にとって景気変動の影響を受けにくい事業を構築することは喫緊の課題であります。食品機械関連事業の譲受けはそうした目的にかなうものであり、併せて譲受ける当該事業のうち固定資産の取得に係る資金を自己資本で賄うことは当社の今後の財務体質の安定・改善に資するものと考えております。従いまして、今回の第三者割当増資により調達する資金使途には十分合理性が認められるものと考えております。

4. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近 3 年間の業績 (連結)

(単位：千円)

事業年度の末日	平成19年 3 月期	平成20年 3 月期	平成21年 3 月期
売上高	13,762,558	13,960,473	12,372,070
営業利益	559,434	483,669	△21,060
経常利益	518,536	437,618	△103,314
当期純利益	227,879	273,499	△933,790
1 株当たり当期純利益 (円)	13,981.17	16,685.98	△56,227.55
1 株当たり配当金 (円)	5,000.00	5,000.00	2,500.00
1 株当たり純資産 (円)	237,628.22	249,175.79	193,534.30

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	16,733株	100.00%
現時点の行使価額における潜在株式数 ※	275株	1.64%

※現時点の行使価額における潜在株式数については、平成 21 年 3 月 31 日現在で計算しております。

※上記潜在株式は全てストックオプションによるものです。なお、当該ストックオプションは行使価額が予め決まっており、行使価額の修正条項が付されておられません。

(3) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当による新株式の発行

発行期日	平成21年9月24日
調達資金の額	1,228,900,000円（発行価額：87,000円）（差引手取概算額）
募集時における発行済株式数	16,733株
募集後における発行済株式数	31,483株
当該増資による発行株式数	14,750株
割当先	株式会社ソディック 古川 利彦 鈴木 正昭 大迫 健一 藤巻 繁 佐野 定男 市川 剛志 河本 朋英 牧崎 利郎 吉田 伸一

（４）最近３年間のエクイティ・ファイナンスの状況  
該当事項はありません。

（５）最近の株価の状況

□最近３年間の状況

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
始 値	375,000円	216,000円	151,000円
高 値	391,000円	219,000円	154,000円
安 値	212,000円	130,000円	66,000円
終 値	220,000円	155,000円	73,500円

□最近6か月間の状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
始 値	81,200円	73,500円	79,000円	77,000円	92,000円	90,000円
高 値	85,000円	90,000円	90,000円	92,000円	92,900円	91,500円
安 値	70,000円	73,500円	70,000円	77,000円	82,500円	86,000円
終 値	73,500円	81,000円	79,400円	92,000円	90,000円	86,000円

□発行決議日の直前日における株価

	平成21年9月3日
始 値	85,000円
高 値	85,000円
安 値	85,000円
終 値	85,000円

## 5. 募集前後の大株主及び持株比率

募集前（平成21年3月31日現在）		募集後	
株式会社ソディック	54.95%	株式会社ソディック	64.94%
ソディックプラスチック栄光持株会	6.71%	ソディックプラスチック栄光持株会	3.57%
乾 弘明	2.01%	鈴木 正昭	3.24%
関 陽一	1.81%	古川 利彦	3.18%
ソディックプラスチック従業員持株会	1.38%	大迫 健一	1.59%
藤川 操	0.71%	乾 弘明	1.07%
小川 恒一	0.71%	関 陽一	0.96%
第一生命保険相互会社	0.60%	藤巻 繁	0.95%
東京海上日動火災保険株式会社	0.60%	ソディックプラスチック従業員持株会	0.73%
藤倉 進司	0.47%	佐野 定男	0.64%
		市川 剛志	0.64%

(注) 1.持株比率は発行済株式総数に対する比率を示し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

2.募集後の大株主及び持株比率は、平成21年3月31日現在の株主名簿に基づき、本増資で増加する予定の株式数を加えて記載しております。

3.上記「募集前後の大株主及び持株比率」につきましては、潜在株式数は反映させておりません。

## 6. 今後の見通し

今回の第三者割当増資により調達する資金等をもって譲受ける食品機械関連事業の当社の当期業績に及ぼす影響については、なお精査中ではありますが、平成22年3月期連結業績予想の修正が必要な場合は速やかに公表いたします。

来期以降は当該事業を軌道に乗せると共に当社が有する既存施設の活用及び機械製造技術の応用等により売上高の伸張、利益の拡大が図られるものと考えております。

## 7. 発行条件等の合理性

### (1) 発行価額の算定根拠

発行価額は、当該増資に係る取締役会の直前日から遡る3ヶ月（平成21年6月4日から平成21年9月3日）の株式会社ジャスダック証券取引所における当社普通株式の普通取引最終価格の単純平均値86,749円（小数点以下を四捨五入。）及び当該直前日の株式会社ジャスダック証券取引所における当社普通株式の普通取引の最終価格85,000円を比較して、高い方の金額を発行価額の基準といたしました。

当社の市場での売買出来高水準を勘案し、一定期間の平均株価という平準化された値である直近3ヶ月の最終価格の平均値とする方法が、算定根拠として合理性があると考えました。

なお、この発行価額については、日本証券業協会の「第三者割当増資等の取扱いに関する指針」に準拠したものであります。また第三者の意見を反映させるために、当社社外監査役、顧問弁護士からそれぞれ今回の第三者割当増資に係る発行価額について、適正かつ合理的である旨の意見書を取得しております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

食品機械等の需要は近年急速に増加しており、当社事業として迅速な対応を行なうことにより受注並びに収益の増加が見込まれる市場と考えられます。今後、当社の事業として取り入れ、既存事業である射出成形機及び精密ステージの生産及び販売とともに、企業収益及び利益の拡大を目指します。

新規事業は、株式会社ソディック新横から譲り受ける予定です。この事業取得に係る譲渡価額、及び今後の事業の円滑な遂行に必要な資金調達のため、発行予定株式数は14,750株といたします。企業規模の拡大に伴い、これまで以上に自己資本の充実に努め、経営基盤の強化を図ることが必要と考えており、発行数量につきましては合理的な範囲内であると考えております。

今回の発行数量は現在の発行済株式総数の88.1%にあたり、一時的に発行株式数の増加による株式価値の希薄化が生じることは避けられないと考えます。しかしながら、射出成形機等の既存事業において培われ、市場においても高い評価と信頼が得られている当社の優れた機械製造の技術力及び最新の生産設備を新規事業にも投入し、当社にとって成長が見込まれる市場に進出することによりもたらされる経済効果は極めて大きいものと考えます。

このような観点から、中長期的には当社の経営基盤の強化とこれまで以上の企業業績の向上が図られ、それにより株式価値が高まることにより、既存株主を始めとする一般投資家や、その他のステークホルダーの利益向上に資するものと考えております。

なお、「2. 第三者割当の方法による新株式発行の目的及び理由」で述べましたとおり、本件の第三者割当増資に関しましては、客観的な必要性和相当性が存在しているだけでなく、当社にとって新たな事業構築が急務であります。今回の第三者割当増資に係る客観的な必要性和相当性につき、適正かつ合理的である旨の意見を当社社外監査役より意見書として提出いただいております。また、同様の意見を当社顧問弁護士より意見書として提出いただいております。

8. 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

(平成21年3月31日現在)

① 商号	株式会社ソディック
② 割当株数	11,250株
③ 払込金額	976,500,000円
④ 事業内容	工作機械事業 (NC放電加工機及びマシニングセンタの開発・製造・販売)、産業機械事業 (プラスチック射出成形機、リニア応用機器の開発・製造・販売)、その他事業 (CAD/CAMシステム、精密金型・精密成形品、電子部品、食品機械、ファインセラミック備品の開発・製造・販売)
⑤ 設立年月日	昭和51年8月3日
⑥ 本店所在地	神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤原 克英
⑧ 資本金の額	20,775百万円
⑨ 発行済株式数	53,432,510株

⑩ 事業年度の末日	3月31日		
⑪ 従業員数	3,158名（連結：平成21年3月31日）		
⑫ 主要取引先	NC放電加工機、マシニングセンタ、プラスチック射出成形機、リニア応用機器等の分野において営業を展開しており、多数の取引先を有しております。		
⑬ 大株主及び持株比率	株式会社ソディック	7.33%	
	古川 利彦	4.39%	
	ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーサブアカウントアメリカンクライアント （常任代理人 香港上海銀行東京支店）	2.33%	
	株式会社三井住友銀行	1.59%	
	ソディック共栄持株会	1.46%	
⑭ 主要取引銀行	株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社北陸銀行 株式会社北國銀行 株式会社横浜銀行		
⑮ 当社との関係等	資本関係	当社株式9,194株を保有しております。	
	取引関係	当社が同社から原材料の購入を行っております。	
	人的関係	同社の代表取締役会長である古川利彦が、平成21年6月27日付で当社の取締役会長に就任しております。	
	関連当事者への該当状況	同社は、当社の親会社に該当いたします。	
⑯ 最近3年間の経営成績及び財政状況（連結）	（単位：百万円）		
事業年度の末日	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
純資産	44,373	42,748	27,401
総資産	100,477	103,967	84,351
売上高	71,553	75,647	54,533
営業利益	5,241	5,133	△2,512
経常利益	6,541	4,498	△5,717
当期純利益	3,757	244	△8,527
1株当たり当期純利益（円）	72.22	4.62	△170.15
1株当たり配当金（円）	15.00	20.00	10.00
1株当たり純資産（円）	771.90	733.52	516.38

① 氏名	古川 利彦	
② 割当株数	1,000株	
③ 払込金額	86,800,000円	
④ 住所	神奈川県横浜市港北区	
⑤ 当社との関係等	資本関係	該当事項はありません。

	取引関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社取締役会長に就任しております。

① 氏名	鈴木 正昭	
② 割当株数	1,000株	
③ 払込金額	86,800,000円	
④ 住所	神奈川県横浜市青葉区	
⑤ 当社との関係等	資本関係	当社株式20株を保有しております。
	取引関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社代表取締役社長に就任しております。

① 氏名	大迫 健一	
② 割当株数	500株	
③ 払込金額	43,400,000円	
④ 住所	石川県小松市	
⑤ 当社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	人的関係	平成21年9月25日開催予定の当社臨時株主総会にて、取締役を選任される予定でございます。

① 氏名	藤巻 繁	
② 割当株数	300株	
③ 払込金額	26,040,000円	
④ 住所	神奈川県横浜市神奈川区	
⑤ 当社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	人的関係	平成21年9月25日開催予定の当社臨時株主総会にて、取締役を選任される予定でございます。

① 氏名	佐野 定男	
② 割当株数	200株	
③ 払込金額	17,360,000円	
④ 住所	神奈川県相模原市	
⑤ 当社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社専務取締役に就任しております。

① 氏名	市川 剛志	
------	-------	--

② 割当株数	200株	
③ 払込金額	17,360,000円	
④ 住所	神奈川県相模原市	
⑤ 当社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社常務取締役就任しております。

① 氏名	河本 朋英	
② 割当株数	100株	
③ 払込金額	8,680,000円	
④ 住所	神奈川県相模原市	
⑤ 当社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社常務取締役就任しております。

① 氏名	牧崎 利郎	
② 割当株数	100株	
③ 払込金額	8,680,000円	
④ 住所	福井県坂井市	
⑤ 当社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	人的関係	平成21年9月25日開催予定の当社臨時株主総会にて、取締役選任される予定でございます。

① 氏名	吉田 伸一	
② 割当株数	100株	
③ 払込金額	8,680,000円	
④ 住所	福井県福井市	
⑤ 当社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	人的関係	平成21年9月25日開催予定の当社臨時株主総会にて、取締役選任される予定でございます。

(2) 割当予定先を選定した理由

食品機械関連事業の譲渡人である株式会社ソディック新横は、株式会社ソディックの完全子会社であり、同時に株式会社ソディックは、当社の議決権の過半数を有する親会社であります。

今回の食品機械関連事業の譲渡・譲受けは株式会社ソディックを中核とする企業集団間の事業再編とも言えます。

従いまして、今回の第三者割当増資及び食品機械関連事業の譲受けにつきましては、当社の

親会社であり、かつ企業集団の中核企業でもある株式会社ソディックから積極的な支援を頂くことが、他の株主及び投資家の皆様のご理解を得るうえで必要不可欠であると考え、割当先として選定いたしました。

加えて、今後の当社の業績向上に対する意欲や株主重視の経営意識を高めるという意味においても、当社取締役および平成 21 年 9 月 25 日に開催される当社臨時株主総会において選任される予定である者を割当先とすることが企業価値向上につながると判断いたしました。

なお、古川利彦、鈴木正昭、佐野定男、市川剛志、河本朋英は、当社の現在の取締役であります。

また、大迫健一、藤巻繁、牧崎利郎、吉田伸一は、食品機械関連事業の推進に必要な業務上の知識、経験を有していることから、平成 21 年 9 月 25 日に開催される当社臨時株主総会において、当社取締役に選任される予定であります。

本増資の払込みに要する資金は、割当先がそれぞれ自己資金もしくは借入により調達した資金をこれに充当するものであり、当社は今回の第三者割当増資の払込みに確実性があると判断しております。

なお、また、割当先からは、それぞれが反社会的勢力との取引関係及び資本関係等を一切有していないことの確認と、かつ将来においても同関係を有しない旨の確約を得ております。

### (3) 割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先との間において、割当新株式について、継続保有に関する取り決めはありませんが、割当予定先が継続的な保有をする意向であることを確認しております。

また、割当新株式効力発生日（平成 21 年 9 月 24 日）より 2 年間に於いて、当該新株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社ジャスダック証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆縦覧に供される旨の確約書の締結をいただくことの内諾を受けております。

### (4) その他重要な契約等

該当ありません。

## 9. 親会社等との取引等に関する事項

本取引は、親会社等との取引等に該当します。

当社の親会社である株式会社ソディックへの募集株式の割当（以下「本件割当」といいます。）に関する当社の取締役会決議（以下「本件決議」といいます。）について、当社の取締役会長である古川利彦は、株式会社ソディックの代表取締役会長であることから特別の利害関係を有しません（会社法 369 条 2 項）が、同人は本件決議には欠席いたしております。一方で、同人は株式会社ソディックの代表取締役会長の立場にあり、本件割当について、当社と同人との関係において利益相反行為（会社法 356 条）にあたる可能性があることから、株式会社ソディックの代表取締役社長である藤原克英が同社を代表して当社との間で募集株式の引受契約を締結することとしております。

また、当社の代表取締役社長鈴木正昭は、株式会社ソディックの取締役副会長であり、本件決議について、特別の利害関係を有する関係に準ずる関係を有するため、参加いたしておりません。

以 上